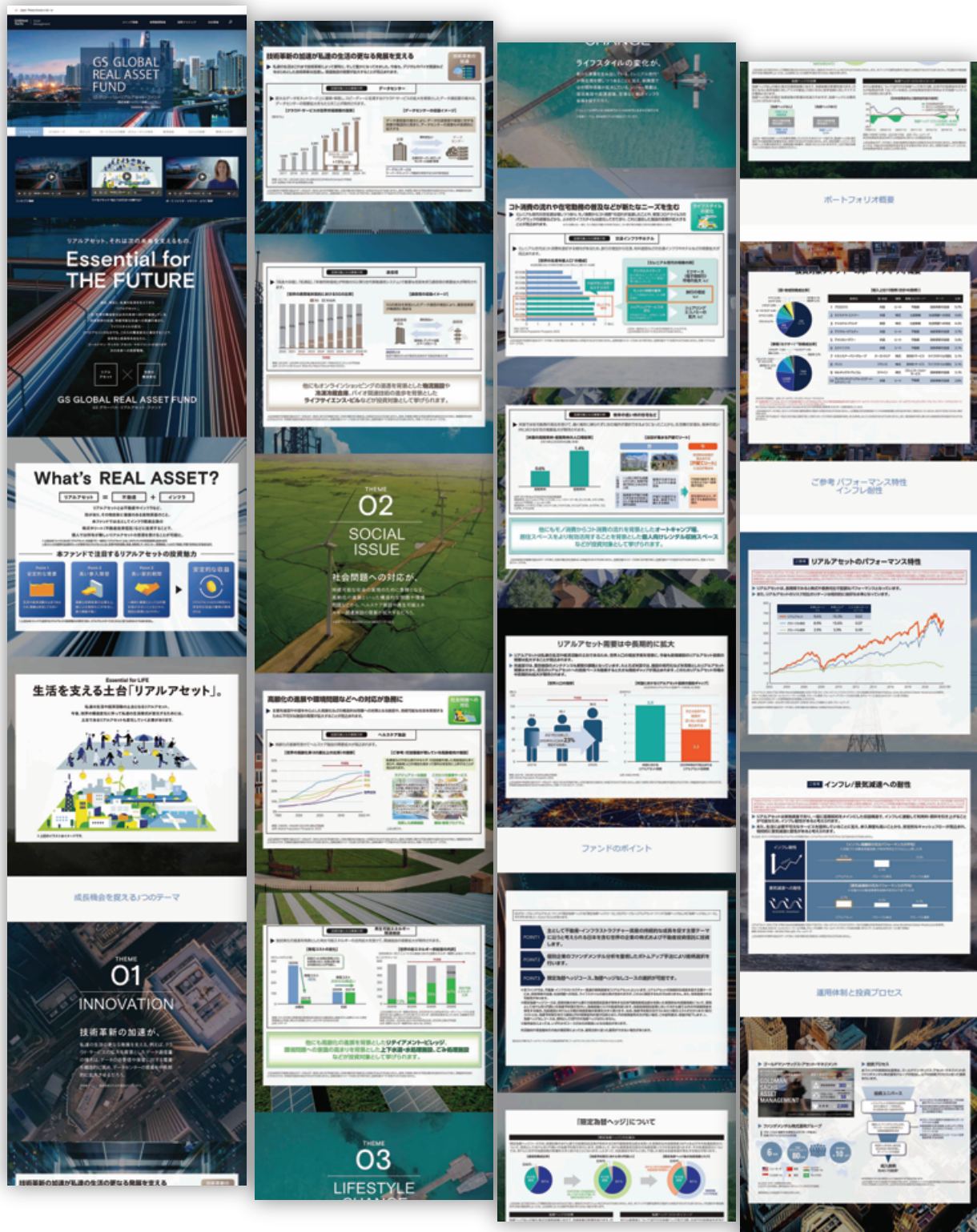


2022年 新商品開発時の情報提供例

GS グローバル・リアルアセット・ファンド(限定為替ヘッジ)／(為替ヘッジなし)
追加型投信／内外／資産複合



詳細は当社ホームページより「投資アイデア」のセクションをご確認ください。
なお特設ページのURL変更や公開停止については予告なく行われる可能性があります。

2023年 新商品開発時の情報提供例

GSワールド・シフト株式ファンド 愛称: shiftWIN
 Aコース(限定為替ヘッジ) / Bコース(為替ヘッジなし)
 追加型投信 / 内外 / 株式



WORLD Today
 過去数十年続いてきたグローバルバージョンは私たちの生活を豊かにした。一方で、同時に様々な深刻な問題を引き起こしてきた。パンデミック以降はリスクを明らかにした。

環境・資源問題 気候変動や資源不足は、世界の経済や社会に深刻な影響を及ぼしている。環境問題は、持続可能な成長の鍵となる。

経済・社会問題 経済成長の鈍化や社会不安は、世界の安定性を脅かしている。社会問題は、持続可能な成長の鍵となる。

国際情勢 地政学的緊張や国際関係の悪化は、世界の安定性を脅かしている。国際情勢は、持続可能な成長の鍵となる。

WORLD Shift
 近年、様々な要因から世界の脆弱性が浮き彫りとなった。世界は変革 (シフト) の時を迎えており、そこから新たな投資機会が生まれるようとしている。

資源の安定確保 資源の安定確保は、持続可能な成長の鍵となる。

サプライチェーンの再構築 サプライチェーンの再構築は、持続可能な成長の鍵となる。

国家セキュリティの強化 国家セキュリティの強化は、持続可能な成長の鍵となる。

主要な投資テーマ

3 資源の安定確保

ロシア・ウクライナ紛争を契機として、EU (欧州連合) を中心に各国・地域は重要資源の確保に向けた取り組みを進めている。

資源の安定確保は、持続可能な成長の鍵となる。

これら
 資源の安定確保は、持続可能な成長の鍵となる。

これら
 資源の安定確保は、持続可能な成長の鍵となる。

投資テーマの要約
 「資源の安定確保、エネルギー転換、環境問題」。

投資対象となる事業例
 「エネルギー転換、環境問題」。



■ サプライチェーンの再構築

近年発生したサプライチェーンの混乱をきっかけとして、各国・地域において製造業の国内回帰の動きがみられるようになってきている。

製造業の国内回帰の動き



これら
 製造業の国内回帰は、持続可能な成長の鍵となる。

これら
 製造業の国内回帰は、持続可能な成長の鍵となる。

投資テーマの要約
 「サプライチェーンの再構築、環境問題」。

投資対象となる事業例
 「環境問題」。

■ 国家セキュリティの強化

安全保障の必要性の増大と地政学的緊張を契機に、各国・地域は自国を守るために国家セキュリティを強化する動きがみられるようになってきている。

国家セキュリティの強化

これら
 国家セキュリティの強化は、持続可能な成長の鍵となる。

これら
 国家セキュリティの強化は、持続可能な成長の鍵となる。

投資テーマの要約
 「国家セキュリティの強化、環境問題」。

投資対象となる事業例
 「環境問題」。



ファンドの特色

1. 日本を含む世界の株式を主要な投資対象とします。
 2. 国際社会の実情^{注1)}に関連する主要なテーマから選定を受けると考えられる先進国を 中心とした企業の株式に投資します。
- 3.Aコース (限定為替ヘッジ)、Bコース (為替ヘッジなし) の選択が可能です。**

【ご参考】ポートフォリオの概要



投資プロセス/銘柄選択のポイント



ポートフォリオの特徴



2024年 新商品開発時の情報提供例

GSグローバル・パーシャルヘッジ社債ファンド
追加型投信／内外／債券

人生100年時代、長期の資産形成には海外の資産に目を向けることが重要だと考えます。

先進国は少子高齢化が進み、人口減少による経済成長の鈍化が懸念されています。一方、新興国は人口増加による経済成長の加速が期待されています。海外資産への投資は、資産形成の多様化に貢献します。

ポイント1：世界の社債に分散投資を行い、インカム収益を獲得

日本企業は国内市場に依存しており、海外市場への成長機会が限られています。一方、海外市場には、人口増加による経済成長の加速が期待されています。海外社債への投資は、資産形成の多様化に貢献します。

ポイント2：債券価格の変動を相対的に抑制した運用

債券価格は金利変動の影響を受けやすいです。本ファンドでは、金利変動による債券価格の変動を相対的に抑制し、安定した収益を追求します。

ポイント3：パーシャルヘッジを行い、部分的に高格変動リスクを低減

本ファンドは、100%ヘッジを行わず、一部をヘッジしないことで、金利変動による債券価格の変動を低減します。一方で、高格社債への投資により、安定した収益を追求します。

パーシャルヘッジの特徴

金利変動による債券価格の変動を低減し、安定した収益を追求します。一方で、高格社債への投資により、安定した収益を追求します。

平均格付は投資機会を維持

本ファンドは、投資機会を維持するために、平均格付をAAからBBBまで幅広く投資します。高格社債への投資は、安定した収益を追求します。一方で、低格社債への投資により、高格変動リスクを低減します。

格付	投資割合
AAA	0.0%
AA	0.1%
A	0.1%
BBB	0.3%
BB	1.6%
B	4.1%
CCC	6.5%
CC	16.2%
C	19.0%

ファンドのポイント

- 1. 世界の社債に分散投資を行い、インカム収益を確保
- 2. 債券価格の変動を相対的に抑制した運用
- 3. パーシャルヘッジを行い、部分的に高格変動リスクを低減

グローバル投資期間(1.5年) 投資機会確保 + **グローバル投資期間(1.5年) ハイグレード社債**

ポイント1：世界の社債に分散投資を行い、インカム収益を獲得

日本企業は国内市場に依存しており、海外市場への成長機会が限られています。一方、海外市場には、人口増加による経済成長の加速が期待されています。海外社債への投資は、資産形成の多様化に貢献します。

ポイント2：債券価格の変動を相対的に抑制した運用

債券価格は金利変動の影響を受けやすいです。本ファンドでは、金利変動による債券価格の変動を相対的に抑制し、安定した収益を追求します。

ポイント3：パーシャルヘッジを行い、部分的に高格変動リスクを低減

本ファンドは、100%ヘッジを行わず、一部をヘッジしないことで、金利変動による債券価格の変動を低減します。一方で、高格社債への投資により、安定した収益を追求します。

インカム収益の積み上げ効果

本ファンドは、インカム収益を積み上げることで、安定した収益を追求します。一方で、高格社債への投資により、安定した収益を追求します。

ポイント2：債券価格の変動を相対的に抑制した運用

債券価格は金利変動の影響を受けやすいです。本ファンドでは、金利変動による債券価格の変動を相対的に抑制し、安定した収益を追求します。

平均格付は投資機会を維持

本ファンドは、投資機会を維持するために、平均格付をAAからBBBまで幅広く投資します。高格社債への投資は、安定した収益を追求します。一方で、低格社債への投資により、高格変動リスクを低減します。

格付	投資割合
AAA	0.0%
AA	0.1%
A	0.1%
BBB	0.3%
BB	1.6%
B	4.1%
CCC	6.5%
CC	16.2%
C	19.0%

ポイント3：パーシャルヘッジを行い、部分的に高格変動リスクを低減

本ファンドは、100%ヘッジを行わず、一部をヘッジしないことで、金利変動による債券価格の変動を低減します。一方で、高格社債への投資により、安定した収益を追求します。

海外ヘッジなしの利便性

本ファンドは、海外ヘッジを行わず、一部をヘッジしないことで、金利変動による債券価格の変動を低減します。一方で、高格社債への投資により、安定した収益を追求します。

パーシャルヘッジの特徴

金利変動による債券価格の変動を低減し、安定した収益を追求します。一方で、高格社債への投資により、安定した収益を追求します。

平均格付は投資機会を維持

本ファンドは、投資機会を維持するために、平均格付をAAからBBBまで幅広く投資します。高格社債への投資は、安定した収益を追求します。一方で、低格社債への投資により、高格変動リスクを低減します。

格付	投資割合
AAA	0.0%
AA	0.1%
A	0.1%
BBB	0.3%
BB	1.6%
B	4.1%
CCC	6.5%
CC	16.2%
C	19.0%

【ご参考】投資対象ファンド1のポートフォリオ概要（2024年8月末現在）

銘柄	投資割合	投資機会確保	ハイグレード社債
グローバル投資	4.0%	投資機会確保	ハイグレード社債
グローバル投資	3.1%	ハイグレード社債	ハイグレード社債
グローバル投資	1.4%	ハイグレード社債	ハイグレード社債

債券価格の変動を抑制する効果

本ファンドは、金利変動による債券価格の変動を抑制し、安定した収益を追求します。

平均格付は投資機会を維持

本ファンドは、投資機会を維持するために、平均格付をAAからBBBまで幅広く投資します。高格社債への投資は、安定した収益を追求します。一方で、低格社債への投資により、高格変動リスクを低減します。

パーシャルヘッジの特徴

金利変動による債券価格の変動を低減し、安定した収益を追求します。一方で、高格社債への投資により、安定した収益を追求します。

詳細は当社ホームページより「投資アイデア」のセクションをご確認ください。
なお特設ページのURL変更や公開停止については予告なく行われる可能性がございます。